

やくえきちゅ

*業務運営会議に指示する方針、理事会議決事項以外の重要事項であって業務運営会議から上移された事項等を審議する。

従来は、理事会議決事項以外の重要事項の審議を行なうことによって総裁の意思決定を助け、また理事会に提出される投資に関する議案の下審議を行なっていたが、昭和40・6本社業務執行体制の改善の一環として常務会の運営方法が改められ、各常務理事は、常務会では自己の担務するテーマについて意見を交換し、方針を決定し、これを執行部局に指示するという、いわゆるトップ・マネージメントに専念できることとなった。

定例会議と臨時会議とに分かれ、定例会議は毎週月曜日および金曜日に開催される。

(宮坂正直)

やくえきちゅにゅう 薬液注入 ずい道掘さく中の出水防止のため、セメントミルクを注入しても完全にその間げきを充てんし、湧水を阻止することは困難である。この欠陥を補うために、薬液(主として、けい(珪)酸ソーダと塩化石灰)を交互に注入して凝固させ掘さくを容易にする。

特殊の薬液としては、ハイドロロックと称して、けい酸ソーダを主とした3種類の薬液を用い、その混ぜ方により凝固強度と凝固時間を加減しうるものがあるが、高価であるため特殊な場合にのみ使用される。なお注入する機械はグラウトポンプを用いている。

参考文献 加納俊二・桑原弥寿雄著 トンネル施工法。

(佐久間 貞二)

やながせせん 柳ヶ瀬線 滋賀県伊香郡木ノ本町から福井県敦賀市に至る国鉄自動車路線であって、所管する近江今津自動車営業所は、滋賀県高島郡今津町に、木ノ本支所は木ノ本町にある。

1 区間・キロ程および沿革

曾々木～敦賀 8.2km 昭

26・10・8 開業

木ノ本～坂口 3.0 昭

29・9・20

中ノ郷～菅並 9.1 昭

29・9・20

雁ヶ谷～中河内 11.1 昭

31・12・29

木ノ本～曾々木 18.0 昭

39・12・1

新麻生口～杉箸 2.8

昭 39・12・1

本路線は昭和39・12・1若江線から分離した。

2 営業範囲

旅客のみの取扱いをしている。

3 使 命

旧鉄道線柳ヶ瀬線の撤去代行路線として、この地域の交通産業の開発助長を使命としている。

4 特 長

北陸線の複線電化により廃線となった国鉄柳ヶ瀬線の鉄道線路敷を専用自動車道として利用している。

(熊沢 勇)

やばねしきしわけせん 矢羽根式仕分線 矢羽根式仕分線とは、3線1組の線群で、中央の線路は貨車または入換機関車の通路線とし、その両側の線路はそれぞれ幾つかのブロックに区切って通路線に結びつけた配線形式の仕分線である。矢羽根式仕分線には、単式と複式とがある。単式は貨物列車の組成用として使用し、複式は貨車の仕分留置用として使用する。図によって、矢羽根式仕分線による作業方法を説明する。

図-1 単式矢羽根式仕分線

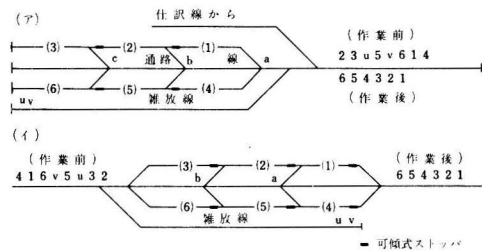
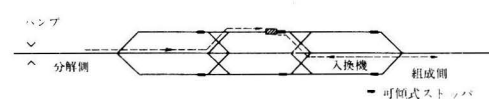


図-2 複式矢羽根式仕分線



1 単式矢羽根式仕分線

図-1は、単式矢羽根式仕分線の配線モデルである。矢羽根線の各ブロックは組成する列車ごとに使用方を決め、当該列車に組み込む貨車の先行(着駅)の順列と同じ順列に各ブロックを使用する。たとえば、図-1・(ア)で右側引上線に数字で駅名、順序数で着駅の並んだ順序を例示した各駅行の貨車があると

この場合、組成する列車の編成が1, 2, 3, …… 6 駅あての貨車からなるものとした場合に、各ブロックは(1), (2), (3), …… (6)で図示した使用方とする。作業方法は、まず、先頭車2を通路線からbの分岐を経て(2)のブロックへ、次の貨車3を通路線からcの分岐を経て(3)のブロックへ、それぞれ解放する。次の貨車uは、この列車に組み込まない駅あての貨車であるから雑放線に解放する。このようにして全貨車をその入るべきブロックへ解放し終わると、入換機関車が右側からaの分岐を経て(1)のブロックへ入線し、(1), (2), (3)の貨車を連結して引き上げ、次いで(4)のブロックへ入線して、(4), (5), (6)の貨車を連結して引き上げる。これで、列車は1, 2, 3, …… 6の順序に組成される。

両面作業の場合は、図-1・(イ)となる。この矢羽根式仕分線は、在来の並列式駅別仕分線に比べて、一般に分岐器の数が多くなり、また仕分線の奥行が深くなるので突放距離が長くなる、などの欠点があるが、図-1・(イ)の場合、分解・組成の作業を1方向の流れ作業とすることができるから、複雑な駅別仕分作業の完全自動化には最も適した配線形式といえる。

また、作業が単純化され、図-1・(イ)の片面式配線で入換機関車を使用する場合でも組成作業時間は、在来のほぼ $\frac{2}{3}$ に短縮される。この配線には、各ブロックの終端に解放貨車の逸走を防止するために可傾式のストッパをおく。可傾式ストッパは、貨車が入線するときは起きており、引き出すときは伏する起伏動作をする車止装置である。この種の車止装置は新鶴見貨車区にある。

2 複式矢羽根式仕分線

列車指定貨車・急送品積車などの特殊扱貨車は、連結する列車が指定もしくは限定されているから、貨車操車場では特殊継送(列車指定貨車や急送品積車などを着発線上の列車から他の列車へリレー継送する作業)するか、またはその他の一般貨車と区別して、仕分線の1線をあてて、これに集結しておき、列車組成の際抜き出して組み込んでいく。しかし、長い仕分線の中から当該列車に組み込む特殊扱貨車を選び出すことに手数がかかり、また抜き出す回数の多い割りに1回当りの車数が少な